

子育て支援に関する市民ニーズ調査 【小学生の保護者用】

調査へのご協力をお願い

日頃より市政の推進について温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび京都市では、子育て支援施策をさらに推進していくため、小学生のお子さまがおられるご家庭の中から無作為に選ばせていただき、アンケート調査を実施することとなりました。

この調査は、皆さまの子育ての状況や子どもや子育て支援に関するご意見等をお聞かせいただき、今後の京都市の子育て支援施策の充実に向けた基礎資料とするために行う、非常に重要なものです。

なお、無記名でお答えいただきますので、どなたのお答えかはわからないようになっています。回答された内容はすべて統計的に処理され、目的外に使用することは一切ございません。

大変お忙しいとは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成30年9月

京都市長 門川大作

ご記入にあたってのお願い

1. このアンケートは、封筒の宛名のお子さまの保護者の方がご記入ください。
2. 特にことわりのある場合以外は、封筒の宛名のお子さまについてご記入ください。
3. お選びいただく選択肢の数が設問によって異なりますので、注意書きに従ってください。
「その他」をお選びいただいた場合は、その後の（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. このアンケートは、「問 41」まであり、設問数は、全部で 67 問ございますが、設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きに従ってご回答ください。特にことわりのない場合は、次の設問にお進みください。
5. ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに9月21日（金）までにポストにご投函ください。
6. このアンケートの結果については、平成31年4月以降に市ホームページにおいて公表する予定です。

【巻末に用語説明を記載しています。併せてご参照ください。】

【調査に関するお問い合わせ先】

京都市子ども若者はぐくみ局 子ども若者未来部

育成推進課 子育て支援に関する市民ニーズ調査担当

電話：075-746-7610 FAX：075-251-2322

お問い合わせ受付時間：平日9：00～17：30

※返送先は、京都市が調査・集計業務を委託している『株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所』宛となっています。

お子さまとご家族の状況についてうかがいます

問1 宛名のお子さまの生年月をご記入ください。

平成（ ）年（ ）月生まれ

問2 お住まいの区等はどちらですか。（○は1つ）

また、お住まいの小学校区をご記入ください。

- | | | |
|----------------------|-------------------|-----------------|
| 1. 北 区 | 2. 上京区 | 3. 左京区 |
| 4. 中京区 | 5. 東山区 | 6. 山科区 |
| 7. 下京区 | 8. 南 区 | 9. 右京区（京北地域除く） |
| 10. 右京区（京北地域） | 11. 西京区（洛西支所管内除く） | 12. 西京区（洛西支所管内） |
| 13. 伏見区（深草・醍醐支所管内除く） | 14. 伏見区（深草支所管内） | 15. 伏見区（醍醐支所管内） |

⇒ お住まいの小学校区 学区

※小学校区がわからない場合は、空白のままで結構です。

問3 家族の人数（ご自身や宛名のお子さまも含む。）をご記入ください。

家族全員	子どもの数		
	小学校入学前の子ども	小学生の子ども	中学生以上の子ども
人	人	人	人
	末子の生年月 平成（ ）年（ ）月		

問4 この調査票に記入されている方はどなたですか（続柄は宛名のお子さまからみた関係）。

（○は1つ）

1. 父 2. 母 3. その他（ ）

問5 (1) 宛名のお子さまとの同居・近居の状況についてお答えください（続柄は宛名のお子さまからみた関係）。（○はいくつでも）

- | | | |
|----------|-----------------|-----------------|
| 1. 父母と同居 | 2. 父と同居（ひとり親家庭） | 3. 母と同居（ひとり親家庭） |
| 4. 祖父と同居 | 5. 祖母と同居 | 6. 祖父と近居 |
| 7. 祖母と近居 | 8. その他（ ） | |

※「近居」は、概ね徒歩 30 分以内で行き来できる範囲。

問5 (2) 宛名のお子さまの父母の年齢をご記入ください。（平成 30 年 9 月 1 日現在）

父	母
【母子家庭の場合は記載不要です。以降の父親の方への質問も同様です。】	【父子家庭の場合は記載不要です。以降の母親の方への質問も同様です。】
（ ） 歳	（ ） 歳

問6 同居・近居のご家族の中に、傷病等により看護が必要な方や、障害等により介護・支援が必要な方はおられますか（続柄は宛名のお子さまからみた関係）。（○はいくつでも）

- | | | | | | |
|--------|-------|-------|--------|---------------------------------|------|
| 1. いない | 2. 本人 | 3. 父 | 4. 母 | 5. 兄 | 6. 姉 |
| 7. 弟 | 8. 妹 | 9. 祖父 | 10. 祖母 | 11. その他（ ） | |

問7 あなたの世帯の昨年1年間（平成29年1月1日～同年12月31日の期間）の可処分所得（実収入から税金や社会保険料等を引いたいわゆる手取り収入）はおおよそどのくらいですか。

（○は1つ）

- | | | |
|---------------|-----------------|---------------|
| 1. 0～100万円 | 2. 101万～200万円 | 3. 201万～300万円 |
| 4. 301万～400万円 | 5. 401万～500万円 | 6. 501万～600万円 |
| 7. 601万～800万円 | 8. 801万～1,000万円 | 9. 1,001万円以上 |

問8(1) 日々の生活の中で、子育てにける時間は優先するべきだと思いますか。（○は1つ）

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 最も優先すべき | 2. できるなら優先すべき |
| 3. 他に優先すべきことがある | 4. わからない |

問8(2) 日々の生活の中で、子育てにけるお金は優先するべきだと思いますか。（○は1つ）

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 最も優先すべき | 2. できるなら優先すべき |
| 3. 他に優先すべきことがある | 4. わからない |

問8(3) 世帯のお子さま全員の子育てについて、1か月にどのくらいの費用がかかりますか。

（○はいくつでも）

また、おおよその金額（幼稚園の就園奨励費や子ども医療費支給制度による補助を受けている場合は、補助を受けた金額を除き実際に負担した額）をご記入ください。

- | | | | |
|--------------------------------|----|---|-------|
| 1. 幼稚園や保育施設等 | ⇒約 | 万 | 千円／月額 |
| 2. 学校（給食費、授業料、教材費等） | ⇒約 | 万 | 千円／月額 |
| 3. 習い事や塾 | ⇒約 | 万 | 千円／月額 |
| 4. 学童クラブ事業等 | ⇒約 | 万 | 千円／月額 |
| 5. 医療 | ⇒約 | 万 | 千円／月額 |
| 6. その他（ ） | ⇒約 | 万 | 千円／月額 |

問9(1) 日頃、お子さまを預けられる人についてお答えください。（○はいくつでも）

また、日常的に預かってもらっている場合には、預けている日数や時間帯（「9時～18時」のように24時間制で）をご記入ください。

- | | |
|--|-------------|
| 1. 日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる | ⇒p.3 問9(2)へ |
| 週（ ）日 預けている （ ）時（ ）分 から （ ）時（ ）分 まで | |
| 2. 緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる | ⇒p.3 問9(2)へ |
| 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる | ⇒p.3 問9(3)へ |
| 週（ ）日 預けている （ ）時（ ）分 から （ ）時（ ）分 まで | |
| 4. 緊急時等に子どもを預けられる友人・知人がいる | ⇒p.3 問9(3)へ |
| 5. いずれもない | ⇒p.3 問10へ |

＜問 9 (1) で「1」または「2」と答えた方にうかがいます。＞

問 9 (2) 祖父母等の親族に預かってもらっている状況についてお答えください。(○は1つ)

1. 祖父母等の親族に預かってもらうことについては、特に問題はない
2. 祖父母等の親族の負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族と子どもの育て方、教育方針が異なるのが気にかかる
4. その他 ()

＜問 9 (1) で「3」または「4」と答えた方にうかがいます。＞

問 9 (3) 友人・知人に預かってもらっている状況についてお答えください。(○は1つ)

1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない
2. 友人・知人の負担が大きく心配である
3. 友人・知人と子どもの育て方、教育方針が異なるのが気にかかる
4. その他 ()

問 10 宛名のお子さまの育児や家事等に主に関わっている方はどなたですか。(○はそれぞれいくつでも)

	父	母	祖父	祖母	子ども 自身で できる	その他
① 洗濯をする	1	2	3	4	5	6 ()
② 食料品等の日常的な買い物をする	1	2	3	4	5	6 ()
③ 家族や子どもの食事をつくる	1	2	3	4	5	6 ()
④ 子どもに食事を食べさせる	1	2	3	4	5	6 ()
⑤ 子どもを風呂に入れる	1	2	3	4	5	6 ()
⑥ 子どもと遊ぶ	1	2	3	4	5	6 ()
⑦ 子どもの衣類を替える	1	2	3	4	5	6 ()
⑧ 学童クラブや習い事、塾等の送り迎えをする	1	2	3	4	5	6 ()
⑨ 子どもを寝かしつける	1	2	3	4	5	6 ()
⑩ 子どもをしつける	1	2	3	4	5	6 ()
⑪ 子どもに本を読み聞かせる	1	2	3	4	5	6 ()
⑫ 子どもの宿題や勉強を見る	1	2	3	4	5	6 ()
⑬ 予防接種や健診に連れて行く	1	2	3	4	5	6 ()
⑭ 子どもが病気の際に看病したり病院に連れて行ったりする	1	2	3	4	5	6 ()
⑮ 子ども会や子育てサークル、町内会や地蔵盆等の子どもに関する地域活動に参加する	1	2	3	4	5	6 ()

お子さまのお父さん、お母さんの就労状況についてうかがいます

問 11(1) 父親・母親それぞれの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む。）について、「1～5」の中からお選びください。（○はそれぞれ1つつつ）

併せて、就労している方は、〔 〕に数字（時刻の場合は、「18 時頃」のように 24 時間制で）をご記入ください。また、就労時間については、30 分以上の端数は切上げ、30 分未満は切下げてご記入ください。

例：1 日の就労時間が 6 時間 30 分の場合→「7 時間」と記入

1 日の就労時間が 6 時間 29 分の場合→「6 時間」と記入

※「フルタイム」とは、1 週 5 日・1 日 8 時間程度の就労をいいます。

父	母
1. 就労している（フルタイム） → 1 週あたりの平均の就労日数・時間、働いている日の平均的な家を出る時間と帰宅時間 1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 家を出る時間〔 〕時頃 帰宅時間〔 〕時頃	1. 就労している（フルタイム） → 1 週あたりの平均の就労日数・時間、働いている日の平均的な家を出る時間と帰宅時間 1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 家を出る時間〔 〕時頃 帰宅時間〔 〕時頃
2. 就労している（フルタイム）が育休・介護休業中	2. 就労している（フルタイム）が育休・介護休業中
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等） → 1 週あたりの平均の就労日数・時間、働いている日の平均的な家を出る時間と帰宅時間 1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 家を出る時間〔 〕時頃 帰宅時間〔 〕時頃	3. 就労している（パートタイム、アルバイト等） → 1 週あたりの平均の就労日数・時間、働いている日の平均的な家を出る時間と帰宅時間 1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 家を出る時間〔 〕時頃 帰宅時間〔 〕時頃
4. 就労している（パートタイム、アルバイト等）が育休・介護休業中	4. 就労している（パートタイム、アルバイト等）が育休・介護休業中
5. 現在就労していない ⇒p. 5 問 11(3), (4)へ	5. 現在就労していない ⇒p. 5 問 11(3), (4)へ

＜問 11(1)で「1～4」と答えた方にうかがいます。＞

問 11(2) フルタイムまたはパートタイム、アルバイト等への転換希望はありますか。（○はそれぞれ1つつつ）

	父	母
① フルタイムへの転換を希望している	1	1
② フルタイムへの転換を希望しているが転換できる見込みはない	2	2
③ パートタイム、アルバイト等への転換を希望している	3	3
④ 現在の就労を継続したい	4	4
⑤ 就労をやめたい	5	5

《問 11 (1) で「5」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は p.6 問 12 へお進みください。》

問 11 (3) その方が、現在就労していない主な理由は何ですか。(〇はそれぞれ 1 つずつ)

	父	母
① 配偶者が就労しているなどで就労する必要がないため	1	1
② 子育てのため	2	2
③ 家族・親族等の看護・介護のため	3	3
④ 健康上の問題があるため	4	4
⑤ 働きたいが、家族の理解が得られないため	5	5
⑥ 条件に合った仕事が見つからないため	6	6
⑦ その他 () 内に理由を記入)	7 {	7 {

《問 11 (1) で「5」と答えた方にうかがいます。》

問 11 (4) 現在就労していない方は今後、就労を希望していますか。(〇はそれぞれ 1 つずつ)
併せて、[] に数字をご記入ください。

父	母
1. 就労は希望していない	1. 就労は希望していない
2. 1 年より先、末子が [] 歳ぐらいになったら就労したい	2. 1 年より先、末子が [] 歳ぐらいになったら就労したい
3. 看護、介護等が必要なくなれば就労したい	3. 看護、介護等が必要なくなれば就労したい
4. 1 年以内に就労したい	4. 1 年以内に就労したい
→ (「2～4」の場合) 希望する就労形態 { ① フルタイム ② パートタイム, アルバイト等 1 週あたり [] 日 1 日あたり [] 時間	→ (「2～4」の場合) 希望する就労形態 { ① フルタイム ② パートタイム, アルバイト等 1 週あたり [] 日 1 日あたり [] 時間

お子さまの状況についてうかがいます

問 12 宛名のお子さまについて、学校の授業以外で、過去 1 年間に、自宅以外での文化芸術活動（映画、音楽、絵画、写真、演劇、能・狂言・歌舞伎などの鑑賞、体験など）や自然体験（山登り、海水浴、川遊び、キャンプなど）、スポーツ活動を行う機会はどの程度ありましたか。

（○はそれぞれ 1 つずつ）

	週 1 回以上	月 1 回以上	年数回以上	年 1 回程度	まったくない	わからない
① 文化芸術活動	1	2	3	4	5	6
② 自然体験	1	2	3	4	5	6
③ スポーツ活動	1	2	3	4	5	6

問 13 宛名のお子さまの学校での勉強の成績はどうですか。（○は 1 つ）

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 成績良好 | 2. まあまあ良好 |
| 3. 普通 | 4. やや遅れている |
| 5. かなり遅れている | 6. わからない |

問 14 宛名のお子さまの様子について、それぞれお答えください。（○はそれぞれ 1 つずつ）

	できる	どちらかという とできる	どちらかという とできない	できない	わからない
① 将来の明るい希望を話すことができる	1	2	3	4	5
② 自信を持って、行動したり人と関わるができる	1	2	3	4	5
③ 目標に向かって努力することができる	1	2	3	4	5

お子さまの病気・病後時の対応についてうかがいます

問 15(1) この 1 年間に、宛名のお子さまが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありましたか。（○は 1 つ）

- | | |
|---------|-----------------|
| 1. あった | ⇒p. 7 問 15(2) へ |
| 2. なかった | ⇒p. 8 問 16(1) へ |

《問 15(1)で「1」と答えた方にうかがいます。》

問 15(2) この1年間の対処方法についてお答えください。(○はいくつでも)

また、それぞれの日数をご記入ください。

1. 父が仕事を休んだ () 日
 2. 母が仕事を休んだ () 日
 3. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた () 日
 4. 子どもを仕事に同行させた () 日
 5. 病児・病後児保育事業を利用した () 日
 6. ベビーシッターを利用した () 日
 7. ファミリーサポート事業を利用した () 日
 8. その他 () () 日
 9. 就労していない母または父がみた () 日

⇒問 15(3)へ

⇒p. 8 問 16(1)へ

《問 15 (2) で「1～4」と答えた方にうかがいます。「5～8」と答えた方は p.8 問 15 (6) へお進みください。》

問 15(3) その際、できれば病児・病後児保育事業等を利用したいと思いましたか。(○は1つ)

また利用したい日数についてもご記入ください。

1. できれば病児・病後児保育事業等を利用したい → () 日 ⇒問 15(4), (5)へ
2. できれば家庭等で面倒をみてあげたい(利用したいと思わない) ⇒p. 8 問 15(6)へ

《問 15 (3) で「1」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は p.8 問 15 (6) へお進みください。》

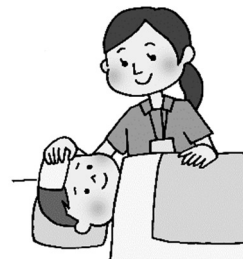
問 15(4) 病気または病後の子どもを預ける場合、どのような事業を希望しますか。(○はいくつでも)

1. 医療機関に併設した専用スペースで子どもを保育する事業
2. 看護師、保育士等1名が子どもの居宅を訪問し、子どもを保育する事業
3. 地域住民が子どもの居宅等の身近な場所で、子どもを預かる事業（例：ファミリーサポート事業）
4. その他（ ）
5. どのような事業でもよい

《問 15 (3) で「1」と答えた方にうかがいます。》

問 15(5) 病児・病後児保育事業等を利用したいと思っていたのに、実際に利用しなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 父母のいずれかが仕事を休むことができた
2. 親族・知人に預けることができた
3. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
4. 事業実施施設に空きがなかった
5. 自宅や職場の近くに事業実施施設がない
6. 事業の実施時間（原則平日の8時～18時）が合わない
7. 利用料がかかる・高い
8. 事業の質に不安がある
9. 事業の利用方法や事業実施施設がわからない
10. そのような事業があることを知らなかった
11. その他（



＜問 15 (2) で「3～8」と答えた方にうかがいます。＞

問 15 (6) 仕事を休めなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 仕事が忙しくて休めなかった
2. 職場に子どもの看護を理由に休みにくい雰囲気があった
3. 自営業なので休めなかった
4. 休暇日数が足りないので休めなかった
5. その他 ()

お子さまの宿泊を伴わない日中の一時預かりについてうかがいます

問 16 (1) 宛名のお子さまについて、この 1 年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の理由で、宿泊を伴わない日中の一時預かりを利用したことがありますか。(○はいくつでも)

また、利用したことがある場合は、() 内にそれぞれの日数(半日程度でも 1 日としてカウント)をご記入ください。

- | | | |
|--------------------------------|-------|--------------------|
| 1. 親族・知人(同居者を含む。)に預けた | () 日 | } ⇒p. 9 問 17 (1) へ |
| 2. 子育て支援短期利用事業(トワイライトステイ)を利用した | () 日 | |
| 3. ファミリーサポート事業を利用した | () 日 | |
| 4. ベビーシッターを利用した | () 日 | |
| 5. その他 () () 日 | | |
| 6. 利用していない ⇒問 16 (2) へ | | |

＜問 16 (1) で「6」と答えた方にうかがいます。＞

問 16 (2) 現在利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 特に利用する必要がない
2. 事業実施施設に空きがない
3. 利用したい時間帯と事業の実施時間が合わない
4. 自宅や職場の近くに事業実施施設がない
5. どこで実施しているかわからない
6. 利用料がかかる・高い
7. 事業の質に不安がある
8. 事業の対象者や利用方法(手続き等)がわからない
9. そのような事業があることを知らなかった
10. その他 ()

問 17(1) この１年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の理由により、宛名のお子さまを日中一時的に預かる事業を利用したいと思ったことはありますか。(○は１つ)
 利用を希望した場合は、年間の希望日数とその理由別の希望日数(半日程度でも１日としてカウント)を()内にご記入ください。

1. 利用希望があった 年間 () 日 ⇒問 17(2)へ

(理由別)

	① 私用、リフレッシュ目的	() 日
	② 冠婚葬祭、兄弟姉妹の学校行事、 保護者や兄弟姉妹の病気等	() 日
	③ 不定期の就労	() 日
	④ その他 () () 日	

2. 利用希望はなかった ⇒問 18(1)へ

《問 17(1)で「１」と答えた方にうかがいます。》

問 17(2) 日中に一時的にお子さまを預ける場合に利用したい事業はどれですか。(○はいくつでも)

1. 児童養護施設等で、子どもを預かる事業
2. 児童館・学童保育所等で、子どもを預かる事業
3. 地域住民が子どもの居宅等身近な場所で、子どもを預かる事業(例：ファミリーサポート事業)
4. その他 ()
5. どのような事業でもよい

お子さまの宿泊を伴う一時預かりについてうかがいます

問 18(1) この１年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気等)により、宛名のお子さまを泊まりがけで家族以外に預けようとしたこと(預け先が見つからなかった場合を含む)はありましたか。(○は１つ)

1. あった ⇒問 18(2)へ
2. なかった ⇒p. 10 問 19(1)へ

《問 18(1)で「１」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は p.10 問 19(1)へお進みください。》

問 18(2) この１年間の対処方法についてお答えください。(○はいくつでも)
 また、()内にそれぞれの泊数をご記入ください。

- | | | |
|-----------------------|-------|-------------------|
| 1. 親族・知人(同居者を含む。)に預けた | () 泊 | ⇒p. 10 問 18(3)へ |
| 2. ショートステイ事業を利用した | () 泊 | } ⇒p. 10 問 19(1)へ |
| 3. 認可外保育施設を利用した | () 泊 | |
| 4. ベビーシッターを利用した | () 泊 | |
| 5. 仕方なく子どもを同行させた | () 泊 | |
| 6. その他 () () 泊 | | |

＜問 18 (2) で「1」と答えた方にうかがいます。＞

問 18 (3) その際は預かってもらいやすい状況でしたか。(○は1つ)

1. 預かってもらいやすかった (特に預かってもらいにくくはなかった)
2. どちらかというと、預かってもらいにくかった
3. とても預かってもらいにくかった

ファミリーサポート事業の利用についてうかがいます

問 19 (1) ファミリーサポート事業を利用したことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 利用している／利用したことがある | ⇒問 19 (2), (3) へ |
| 2. 会員登録はしているが、利用したことはない | } ⇒p. 11 問 19 (4), (5) へ |
| 3. 利用したことはない | |

＜問 19 (1) で「1」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は p.11 問 19 (4) へお進みください。＞

問 19 (2) 事業を利用している目的は何ですか。(○はいくつでも)

1. 放課後の時間の主な預かり事業として利用している
2. 学童クラブの利用で足りない時間を補う目的で利用している (朝・夕等)
3. 子どもが軽度の病気あるいは病気回復期に利用している
4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえない時に利用している
5. 親の冠婚葬祭や買い物等の外出の際に利用している
6. 学童クラブ等の送り迎えに利用している
7. その他 ()

＜問 19 (1) で「1」と答えた方にうかがいます。＞

問 19 (3) 現在どの程度利用しており、希望としてはどのくらい利用したいですか。それぞれの () 内に回数と時間をご記入ください。

① 現在	1 月あたり () 回	1 回あたり () 時間程度
② 希望	1 月あたり () 回	1 回あたり () 時間程度



《問 19 (1) で「2」または「3」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は問 20 へお進みください。》

問 19 (4) 利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 特に利用する必要がない／なかった
2. 会員登録をしなければならない
3. 事前説明会に参加しなければならない
4. 急に利用しにくい
5. 利用したい時間帯と事業の実施時間が合わない
6. 利用料がかかる・高い
7. 事業の質に不安がある
8. 事業の対象者や利用方法（手続き等）がわからない
9. そのような事業があることを知らなかった
10. その他（)
11. 特に理由はない

《問 19 (1) で「2」または「3」と答えた方にうかがいます。》

問 19 (5) 今後、ファミリーサポート事業の利用を希望しますか。(○は1つ)

1. 利用を希望する
2. 特に利用を希望しない

子育て支援・相談などについてうかがいます

問 20 子育てをしている今の気持ちについてお答えください。(○は1つ)

1. とても楽しい
2. 楽しい
3. 少し不安または負担を感じる
4. とても不安または負担を感じる
5. どちらともいえない

問 21 子育てをしていて、「楽しい」「良かった」と最も感じること、感じる時についてお答えください。
(○はいくつでも)

1. 家族のきずなが深まった
2. 他人の子どもや他人に対して優しくなれた
3. 子どもに多くのことを教えられた
4. ものの見方や価値観が変わった
5. 子どもが見出す新鮮な発見が楽しい
6. 家庭の雰囲気がなごやかになった
7. 子どもの成長・発達に感動した（歩いた、しゃべった、運動会での活躍など）
8. 子どもを通していろいろな人と知り合いになれた、友達ができた
9. 子どもが家族のために優しい気配りやお手伝いなどしてくれた時
10. 子どもが他の子ども（友達）のために優しい気配りなどしてくれた時
11. その他（)
12. 特にない

問 22 宛名のお子さまを育てていて、日頃不安に感じていることはありますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	不安で はない	あまり 不安で はない	どちら ともい えない	少し 不安 である	不安 である
① 子どものしつけ	1	2	3	4	5
② 子どもの教育	1	2	3	4	5
③ 子どもの教育費	1	2	3	4	5
④ 子どもの遊び	1	2	3	4	5
⑤ 子どもを遊ばせることができる場所	1	2	3	4	5
⑥ 子どもの友達付き合い	1	2	3	4	5
⑦ 子どもを預けられる施設や条件	1	2	3	4	5
⑧ 子どもの食事や栄養	1	2	3	4	5
⑨ 子どもの病気や発育	1	2	3	4	5
⑩ 子どもの医療費	1	2	3	4	5
⑪ 子どもの将来	1	2	3	4	5
⑫ 子どもと接する時間	1	2	3	4	5
⑬ 家族の中での子育て観	1	2	3	4	5
⑭ 配偶者の子育てへの協力	1	2	3	4	5
⑮ 子育てに対する自信	1	2	3	4	5
⑯ 育児書どおりにならない	1	2	3	4	5
⑰ 子育てと自分の生きがいや仕事との関係	1	2	3	4	5
⑱ 自分の話し相手や相談相手	1	2	3	4	5
⑲ 自分の時間、心のゆとり	1	2	3	4	5
⑳ 自分の健康	1	2	3	4	5
㉑ その他 ()	1	2	3	4	5

問 23 宛名のお子さまを育てるうえで、日頃気になることをどこに、または誰に相談していますか。

(○は3つまで)

1. 保健福祉センター子どもはぐくみ室
2. 児童福祉センター
3. 子育て支援活動いきいきセンター (つどいの広場)
4. 児童館
5. 宛名のお子さまやその兄弟姉妹が通っている学校・幼稚園・保育施設等
6. こどもみらい館
7. 民生委員・児童委員, 主任児童委員
8. 医療機関
9. 配偶者・パートナー
10. 祖父母等の親族
11. 友人や近隣の住民
12. 職場の同僚
13. 子育てサークル等の仲間
14. 幼稚園・保育施設等や学校の保護者仲間
15. 電話相談機関
16. インターネットの相談・質問サイト
17. その他 ()
18. 相談相手がいない



問 24 あなたは、宛名のお子さまと遊ぶまたは勉強を教える機会は、どの程度ありますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

	ほぼ毎日	週に3～4日	週に1～2日	月に1～2日	めったにない
① 遊ぶ	1	2	3	4	5
② 勉強を教える	1	2	3	4	5

問 25 育児休業取得率に代表されるように、子育てへの関わりについては一般的に母親よりも父親の方が少ないと言われていますが、その理由をどのように考えますか。(○は1つ)

1. 残業や休日出勤等が多く、仕事を優先せざるを得ないこと
2. 通勤時間が長いこと
3. 子どもや家庭のことで休みを取ることに、職場の理解を得にくいこと
4. 父親として具体的に何をすべきかよくわからないこと
5. 父親が育児に関わることを恥ずかしいと思う意識が男性にあること
6. 父親が育児に関わることを特別視する風潮が世間にあること
7. その他 ()
8. わからない

問 26 子育てと仕事の両立を支援していくため、社会全体でどのような制度や支援策に最優先で取り組むべきだと思いますか。（〇は1つ）

1. 妊娠中の出勤時間など就労条件に対して便宜を図る制度・施策の充実
2. 産前や産後の休暇が十分に取れる制度・施策の充実
3. 男性・女性がともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備
4. 育児休業中も職場の情報を提供するなど、職場に復帰しやすい条件の整備
5. 子育ての間は、残業や出張などを免除する制度
6. 子育ての間は、雇用形態を変えずに就労時間を短くする制度
7. 子育ての間は、パートなど一時的に雇用形態を変えることができる制度
8. 子どもの用事（学校行事、病気など）の時に休める制度や時間単位休暇制度
9. 事業所内に子どもが預けられる施設等の整備
10. 育児相談の実施
11. 出産や育児のために仕事を辞めた女性への再雇用制度の充実
12. 女性の就労継続に対する企業などの理解や支援
13. その他（ ）
14. 特にない

問 27(1) 宛名のお子さまは朝食・夕食を1週間に何日程度食べていますか。（〇はそれぞれ1つずつ）

	ほぼ毎日	週に4～5日	週に2～3日	ほとんど食べない	わからない
① 朝食	1	2	3	4	5
② 夕食	1	2	3	4	5

問 27(2) 宛名のお子さまは、朝食・夕食を誰と食べることが多いですか。（〇はそれぞれいくつでも）

	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい（兄弟姉妹）	本人（お子さま）のみ	その他（ ）	わからない
① 朝食	1	2	3	4	5	6	7	8
② 夕食	1	2	3	4	5	6	7	8

問 28(1) あなたのご家庭では、宛名のお子さまの夕食をつくる（料理する）ことがどの程度ありますか。（〇は1つ）

1. ほぼ毎日
2. 週に4～5日程度
3. 週に2～3日程度
4. 月に数日（休日など）
5. ほとんどつくらない

「問 28(1) で「4」または「5」と答えた方にうかがいます。」

問 28(2) 宛名のお子さまの食事で、最も多いものをお答えください。（〇は1つ）

1. 外食
2. スーパーやコンビニ等で購入する惣菜、弁当
3. インスタント・レトルト食品
4. お菓子
5. 親戚、知人がつくった料理
6. わからない
7. その他（ ）

問 29 宛名のお子さまには、かかりつけの医師がいますか。(○は1つ)

1. いる 2. いない

問 30 休日・夜間に診てもらえる小児救急医療機関を知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている 2. 知らない

問 31 子育てに関する情報の入手方法について、行政と民間のそれぞれでお答えください。

(○はそれぞれ2つまで)

	入手方法
① 行政	1. 市民しんぶん 2. 京都市のホームページ（京都市情報館や各区・支所子ども支援センターのHP） 3. 京都市公式ソーシャルメディア（twitter, YouTube, Facebook, アプリ） 4. 京都市子育てアプリ「京都はぐくみアプリ」 5. 京都市が発行する子育て応援パンフレット 6. 保健福祉センター子どもはぐくみ室の発行物等 7. 児童福祉センター（児童相談所・発達相談所） 8. こどもみらい館の発行物等 9. 子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場） 10. 児童館の発行物等 11. 宛名のお子さまやその兄弟姉妹が通っている学校・幼稚園・保育施設等 12. 11 以外の学校・幼稚園・保育施設等 13. その他（ ）
② 民間	1. 民生委員・児童委員，主任児童委員 2. 電話相談機関 3. 医療機関 4. 配偶者・パートナー 5. 祖父母等の親族 6. 友人や近隣の住民 7. 職場の同僚 8. 子育てサークル等の仲間 9. 幼稚園・保育施設等や学校の保護者仲間 10. テレビ，ラジオ，新聞，雑誌等 11. インターネットの子育て情報サイト 12. その他（ ）



問 32(1) 宛名のお子さまと一緒に、地域で実施されている子育て世帯向けの事業に参加したことがありますか。(○は1つ)

- 1. 参加したことがある ⇒問 32(2), (3) へ
- 2. 参加したことがない ⇒問 33 へ

＜問 32(1)で「1」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は問 33 へお進みください。＞

問 32(2) よく参加される事業の運営主体についてお答えください。(○はいくつでも)

- 1. 自治会、民生委員・児童委員など地域の方が中心となり運営している事業
- 2. 保育園(所)、認定こども園などが中心となり運営している事業
- 3. 幼稚園が中心となり運営している事業
- 4. 児童館、学童クラブなどが中心となり運営している事業
- 5. NPO法人、ボランティアが中心となり運営している事業
- 6. 学校施設(小学校、中学校、高等学校、大学など)が中心となり運営している事業
- 7. その他()

＜問 32(1)で「1」と答えた方にうかがいます。＞

問 32(3) 参加しているまたは今後、参加したいと思う事業はどれですか。(○はいくつでも)

- 1. スポーツ活動
- 2. 音楽活動
- 3. キャンプなどの野外活動
- 4. 子ども会活動
- 5. 清掃や高齢者訪問などの社会福祉活動
- 6. 地域の祭りなどの伝統行事
- 7. その他()
- 8. 参加したいと思わない

問 33 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。(○は1つ)

- 1. とても感じる
- 2. 感じる
- 3. あまり感じない
- 4. 感じない

問 34 子育てをするうえで、ご近所・地域の人々に期待することは何ですか。(○はいくつでも)

- 1. 身近な問題についての親同士での相談や話し合い
- 2. 地域が実施する子ども向けの活動(地藏盆や通学路の見守り活動等)を通じて、地域の大人が子どもに関わり合うこと
- 3. 子どもや保護者が集える場所づくり
- 4. 「声かけ」「あいさつ」をはじめ、身近なコミュニケーション
- 5. 急用や緊急時に、子どもを預け合えること
- 6. 子どもの危険な行為やいたずらを注意し合えること
- 7. 子どもが事故や犯罪被害に巻き込まれないよう気を配り合うこと
- 8. 子どもの言動に対する寛容なまなざし
- 9. その他()
- 10. 期待することは特にない

問 35 平成 19 年 2 月制定の「子どもを共に育む京都市民憲章」についてうかがいます。あなたは、この憲章を知っていますか。また、憲章の実践についてどう思いますか。(○はそれぞれ 1 つずつ)

1. 知っている

- ☐ (1) 実践していると思う
- ☐ (2) 今後、実践したいと思う
- ☐ (3) 関心がない

2. 知らない

- ☐ (1) 今後、実践したいと思う
- ☐ (2) 関心がない

＜参考＞子どもを共に育む京都市民憲章

わたくしたちは、

- 1 子どもが存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 1 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 1 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 1 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。
- 1 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 1 子どもを育む自然の恵みを大切に、社会の環境づくりを優先します。

平成 19 年 2 月 5 日（育児ニコニコ笑顔の日）制定

3 月 13 日 京都市会が憲章を積極的に推進する決議

問 36 京都市は子どもにとって住みやすいと感じますか。(○は 1 つ)

- 1. とても感じる
- 2. 感じる
- 3. あまり感じない
- 4. 感じない

問 37 京都市は子育てしやすいまちだと感じますか。(○は 1 つ)

- 1. とても感じる
- 2. 感じる
- 3. あまり感じない
- 4. 感じない

問 38 今後、京都市・京都府・国にどのようなことを最も期待しますか。(○は 1 つ)

- 1. 妊娠・出産の支援の充実
- 2. 子どもの健康や医療に関する取組の充実
- 3. 保育施設の整備や学童クラブ等の子育て支援の取組の充実
- 4. 教育環境の整備
- 5. 子育て世帯に対する経済的支援の充実
- 6. 仕事と子育ての両立支援と働き方の見直しの促進
- 7. 子育てに関する相談体制の整備
- 8. 交通事故・犯罪の予防・防止等、子どもの安全対策の充実
- 9. その他 ()
- 10. 特にない

問 39 あなたが生活で、最も重要だと考えていること（価値観）は何ですか。(○は 1 つ)

- 1. 仕事や就労
- 2. 経済的な豊かさ
- 3. 子育てや子どもへの教育
- 4. 家族と過ごす時間
- 5. 友人など家族以外の人との交流
- 6. 自分のために使う時間（趣味や自己研さんのための時間等）
- 7. 自分や家族の健康
- 8. 地域や社会に貢献する活動
- 9. その他 ()
- 10. 特にない

問 40 現在の京都市について、あなたの実感に最も近いものをお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

	そう思う	少しそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わ ない
① 安心して出産できる環境である	1	2	3	4	5
② 乳幼児健診でのアドバイスやアフターフォローが充実している	1	2	3	4	5
③ 身近に小児医療が受けられる環境が整っている	1	2	3	4	5
④ 必要な時に保育施設等や学童クラブ等を利用できる環境である	1	2	3	4	5
⑤ 保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気等)の時に、必要な支援を受けられる環境である	1	2	3	4	5
⑥ 障害や、保護者の養護が足りないなど、配慮を要する子どもの状況に応じた支援が行われている	1	2	3	4	5
⑦ 子育てをしながら仕事と生活は両立できる環境である	1	2	3	4	5
⑧ 子育てに不安を感じた時気軽に相談できるところがある	1	2	3	4	5
⑨ 子どもの教育環境が充実している	1	2	3	4	5
⑩ 青少年が健全に育つ環境である	1	2	3	4	5
⑪ 身近に、自宅以外の子どもの居場所や遊び場がある	1	2	3	4	5

問 41 安心して子どもを生み、子どもを健やかに育てていくための行政の取組や、社会制度のあり方について、特に望むことやご意見がありましたら、以下の選択肢1つに○を付けていただき、自由記述欄にご記入ください。

1. 妊娠・出産に関する取組について
2. 子どもの健康や医療について
3. 保育園(所)、認定こども園や幼稚園について
4. 保育園(所)、認定こども園や幼稚園以外の子育て支援について
5. 就学後の学童クラブ等の子育て支援について
6. 教育環境について
7. 子育て世帯に対する経済的支援について
8. 仕事と子育ての両立支援と働き方について
9. その他 ()

(自由記述)

アンケートはこれで終わりです。ご協力ありがとうございました！
同封の封筒に入れ、切手を貼らずに9月21日(金)までにご投函ください。

● 用語説明

※ アンケートにご回答いただく際にご参照ください。

用 語	説 明
か	
学童クラブ事業	保護者の就労等で昼間留守になる家庭の小学生のお子さまを対象に、児童館・学童保育所等で放課後安全に保護し、かつ、健やかに育成する事業です。
子育て支援短期利用事業 (ショートステイ)	保護者の入院や通院（病気、出産）、あるいは冠婚葬祭や出張等により、一時的に家庭で子どもがみられなくなった時、小学校修了前までのお子さまを、乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設で一定期間養育する事業です。（市内2か所の乳児院、8か所の児童養護施設、1か所の母子生活支援施設で実施）
子育て支援短期利用事業 (トワイライトステイ)	保護者が仕事や通院などのため、帰宅が遅くなる時、小学生のお子さまを午後5時～午後10時まで、児童養護施設、母子生活支援施設でお預かりする事業です。（市内8か所の児童養護施設、3か所の母子生活支援施設で実施）
子どもはぐくみ室 (区役所・支所保健福祉センター子どもはぐくみ室)	お住まいの区役所・支所において、子育て支援を担当している部署です。妊娠から出産、その後の子育てに係る概ね18歳までのお子さまや子育て家庭に関する各種の施策利用に関する窓口として、また身近な地域における相談支援の拠点として、お住まいの地域の子育てに関する様々な情報の提供などを行っています。
さ	
児童館	18歳未満の児童に健全な遊びの機会を提供し、健康の増進と情操を豊かにするために設置された児童福祉施設です。子育て家庭への支援や児童に関する地域の活動センターとしての取組等も行っています。
児童福祉センター (児童相談所・発達相談所)	児童福祉法に基づく行政機関として設置されている児童相談所を中心に、障害のある子どもへの療育等を行う各種施設などが併設されています。センターでは、子育ての不安、発達の遅れ、障害、不登校、非行、子どもを家庭で育てられないなど、子どもに関する様々な相談に応じています。また、児童虐待の相談や通告も受け付けています。（市内に2か所）
は	
ファミリーサポート事業	育児の援助を受けたい人（依頼会員）と育児の援助をしたい人（提供会員）とが会員となって、保育施設までの送迎や、買い物などで外出の際にお子さまを預かるなど、市民の方が互いに助け合う子育て支援事業です。

（施設数等は、平成30年6月1日現在）